

46 鹿児島県

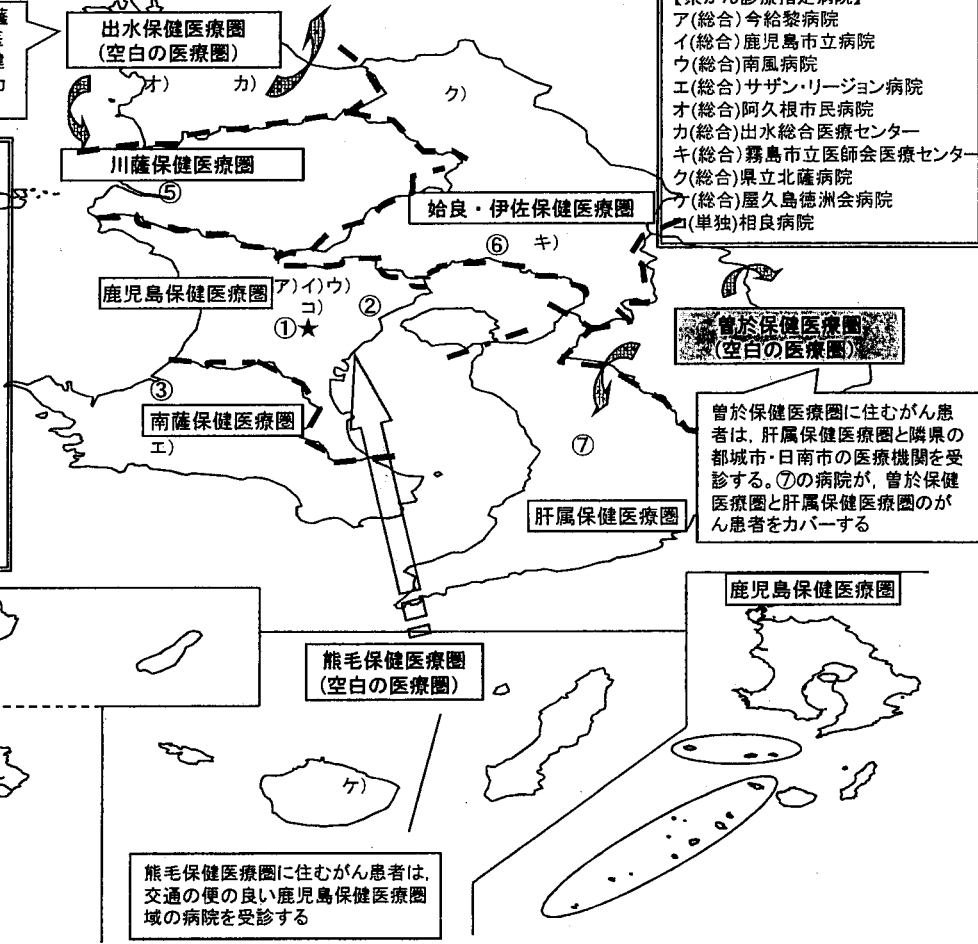
鹿児島県平成21年4月1日現在の指定状況と患者受療動向

資料1

出水保健医療圏に住むがん患者は、川薩保健医療圏と隣接の水俣市・八代市の医療機関を受診する。⑤の病院が出水保健医療圏と川薩保健医療圏のがん患者をカバーする

【県がん診療指定病院】
 ア(総合)今給黎病院
 イ(総合)鹿児島市立病院
 ウ(総合)南風病院
 エ(総合)サザン・リージョン病院
 オ(総合)阿久根市民病院
 カ(総合)出水総合医療センター
 キ(総合)霧島市立医師会医療センター
 ク(総合)県立北薩病院
 コ(総合)屋久島徳洲会病院
 ケ(単独)相良病院

- ①国立大学法人鹿児島大学病院★
(平成18年8月24日)
- ②国立病院機構鹿児島医療センター
(平成18年8月24日)
- ③県立薩南病院
(平成19年1月31日)
- ④県立大島病院
(平成19年1月31日)
- ⑤済生会川内病院
(平成20年2月8日)
- ⑥国立病院機構南九州病院
(平成20年2月8日)
- ⑦県民健康プラザ鹿屋医療センター
(平成20年2月8日)



奄美保健医療圏
(空白の医療圏)

奄美保健医療圏に住むがん患者は、肝属保健医療圏と隣県の都城市・日南市の医療機関を受診する。⑦の病院が、奄美保健医療圏と肝属保健医療圏のがん患者をカバーする

奄美保健医療圏

熊毛保健医療圏
(空白の医療圏)

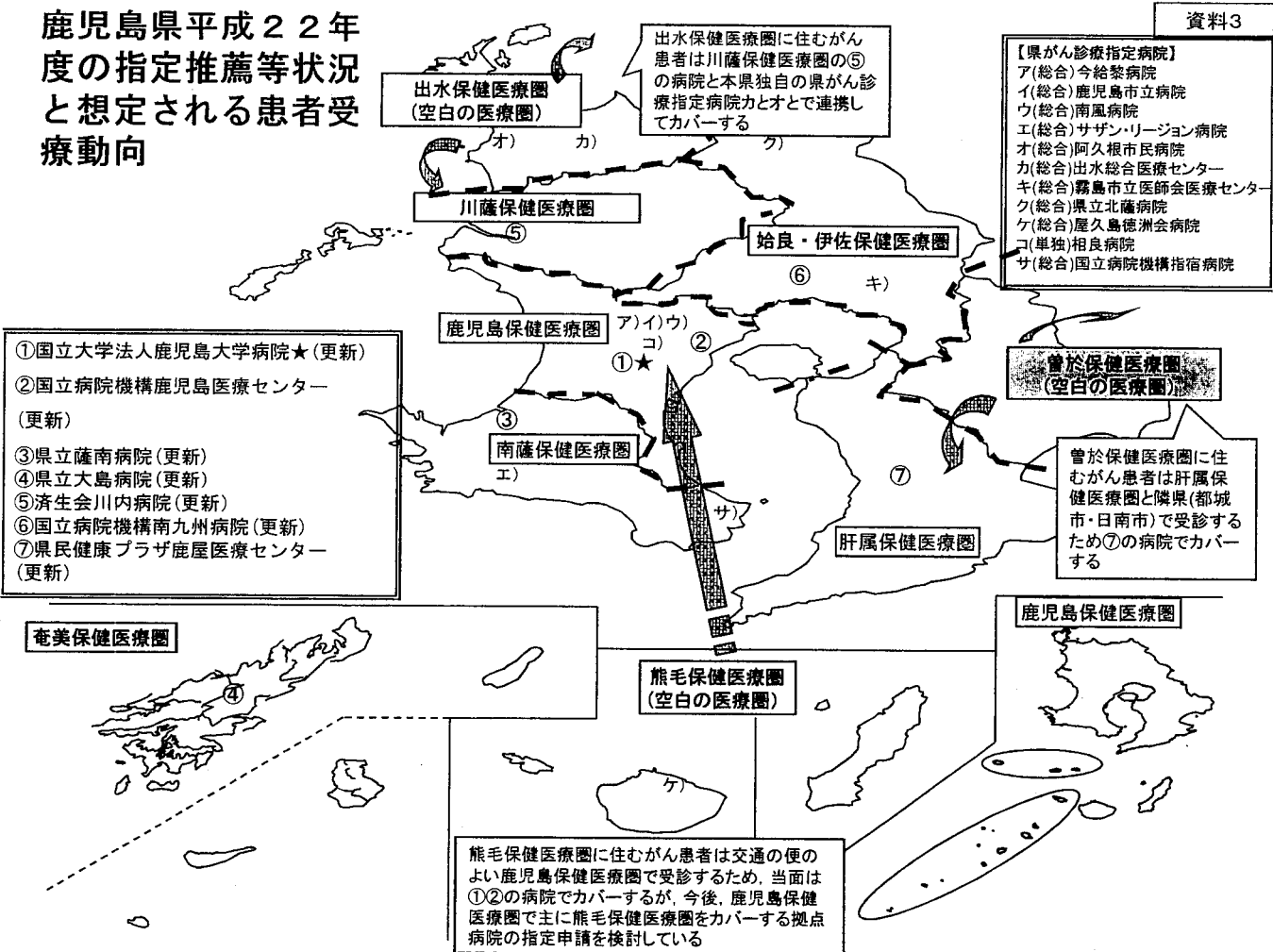
熊毛保健医療圏に住むがん患者は、交通の便の良い鹿児島保健医療圏域の病院を受診する

※()内は平成20年10月末提出の数値、下段は平成21年10月末提出の数値 ※申請区分は資料3の作成要領を参照のこと
 ※一枚につき11病院を超える場合には、2枚にわたって表を作成してください。

資料2

都道府県	申請区分	病院名	年間新入院がん患者数(1月~12月)		悪性腫瘍手術総数	がんの種類										年間患者実数(1月~12月)		薬物療法への患者数		緩和ケアチームに対する新規診療依頼数(6~7月の集計)	相談支援センター相談件数(6~7月の集計)	退院時共同指導料2(6~7月の集計)
			年間新入院がん患者数(1月~12月)	年間新入院患者数に占めるがん患者の割合(%)		肺がん		胃がん手術		大腸がん手術		肝臓がん		乳がん		体外照射	小線源治療	入院患者数	外来患者数			
			開胸手術	胸腔鏡手術		開腹手術	内視鏡手術 粘膜切除術(EMR)	開腹手術	内視鏡手術	開腹手術	内視鏡手術	ラジオ波焼灼療法	乳癌手術	乳房再建術(乳房切除後)二期的に行うもの	入院患者数	外来患者数						
1	★更新	鹿児島大学病院	(3850) 4193	(43.4) 44.6	(81) 98	(0) 0	(24) 32	(1) 2	(0) 12	(5) 6	(1) 9	(12) 16	(13) 0	(9) 14	(0) 1	(566) 450	(105) 58	(244) 252	(97) 92	(18) 25	(57) 90	(0) 0
2	更新	鹿児島医療センター	(1881) 1927	(30.8) 29.8	(25) 19	(0) 1	(0) 2	(0) 6	(0) 0	(0) 8	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(153) 164	(0) 3	(184) 171	(43) 78	(15) 11	(3) 378	(1) 0
3	更新	県立薩南病院	(758) 651	(33.1) 30.4	(17) 16	(0) 0	(0) 0	(3) 3	(0) 0	(11) 7	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 1	(0) 0	(33) 23	(0) 0	(34) 29	(24) 30	(3) 11	(33) 111	(0) 0
4	更新	県立大島病院	(627) 623	(10.9) 10.8	(41) 22	(3) 0	(0) 1	(4) 2	(1) 0	(6) 7	(3) 0	(0) 0	(0) 0	(9) 7	(0) 0	(7) 61	(0) 0	(83) 67	(21) 31	(11) 5	(34) 35	(0) 0
5	更新	済生会川内病院	(1179) 1067	(26.8) 24.5	(39) 26	(0) 0	(0) 0	(1) 3	(0) 0	(2) 6	(0) 0	(0) 1	(1) 1	(0) 1	(0) 0	(166) 153	(0) 0	(102) 95	(28) 25	(2) 4	(1) 65	(0) 0
6	更新	南九州病院	(1719) 1625	(48.0) 47.4	(36) 44	(6) 15	(18) 13	(4) 2	(0) 0	(4) 2	(0) 0	(0) 1	(0) 0	(0) 5	(0) 0	(163) 116	(0) 0	(124) 114	(13) 18	(9) 12	(52) 100	(0) 0
7	更新	鹿屋医療センター	(920) 860	(25.1) 27.2	(21) 24	(1) 0	(0) 0	(3) 1	(0) 0	(3) 2	(19) 0	(0) 0	(0) 0	(1) 4	(0) 0	(133) 83	(0) 0	(49) 92	(32) 59	(16) 17	(35) 23	(0) 0

鹿児島県平成22年度の指定推薦等状況と想定される患者受療動向



◎現状

- ・9医療圏域中6医療圏域に7施設(都道府県:1機関・地域:6機関)が指定されている。
- ・本県独自の「県がん診療指定病院」を11医療機関指定している。(H22. 1. 1現在)

◎目標

- ・平成22年度末までに一又は複数の二次保健医療圏域に地域がん診療連携拠点病院を整備。
- ・平成22年度末までに、地域がん診療連携拠点病院が未整備の二次保健医療圏域及び圏域の特性等により連携医療の強化が必要な圏域については、県がん診療指定病院を整備。

◎役割分担

○県がん診療連携拠点病院

- ・専門的な高度医療の提供
- ・医療従事者を対象とした研修会の開催
- ・がん診療に関する情報提供
- ・がん拠点病院連携協議会の設置

○地域がん診療拠点病院

- ・集学的治療及び標準的治療体制の提供
- ・緩和ケアチームの設置及び提供
- ・病病連携, 病診連携の協力体制の整備
- ・相談支援センターの設置

◎未充足項目

施設名: 県立鹿屋医療センター

3 情報の収集提供体制

(1) 支援センター

④ 国立がんセンターがん情報センターによる研修を修了した専従及び専任の相談支援に携わる者をそれぞれ1人以上配置している。

⑤ がん対策情報センター相談支援センター相談員(1)(2)(3)の修了者数

・理由: 受講者本人が研修会直前になり, 体調不良になり入院する結果となった。

21年11月9~10日の研修会を受講した。

・充足見込み年月日: 平成21年11月11日

-259-

◎空白圏域の考え方

○出水保健医療圏

- ・地域がん診療連携拠点病院の指定要件を充足する医療機関がない。
- ・隣接の水俣市・八代市(熊本県)も生活圏となっており, その医療施設を利用するがん患者も多い。
- ・隣接の川薩医療圏の地域がん診療連携拠点病院(済生会川内病院)と県がん診療指定病院(阿久根市民病院・出水総合医療センター)との連携によりがん患者に対応する。

○曾於保健医療圏域

- ・地域がん診療連携拠点病院の指定要件を充足する医療機関がない。
 - ・県がん診療指定病院も指定されていない。
 - ・隣接の肝属保健医療圏域の地域がん診療連携拠点病院(鹿屋医療センター)で対応する。
- また, 隣接の宮崎県(都城市・日南市)の医療機関への受診もみられる。

○熊毛保健医療圏域

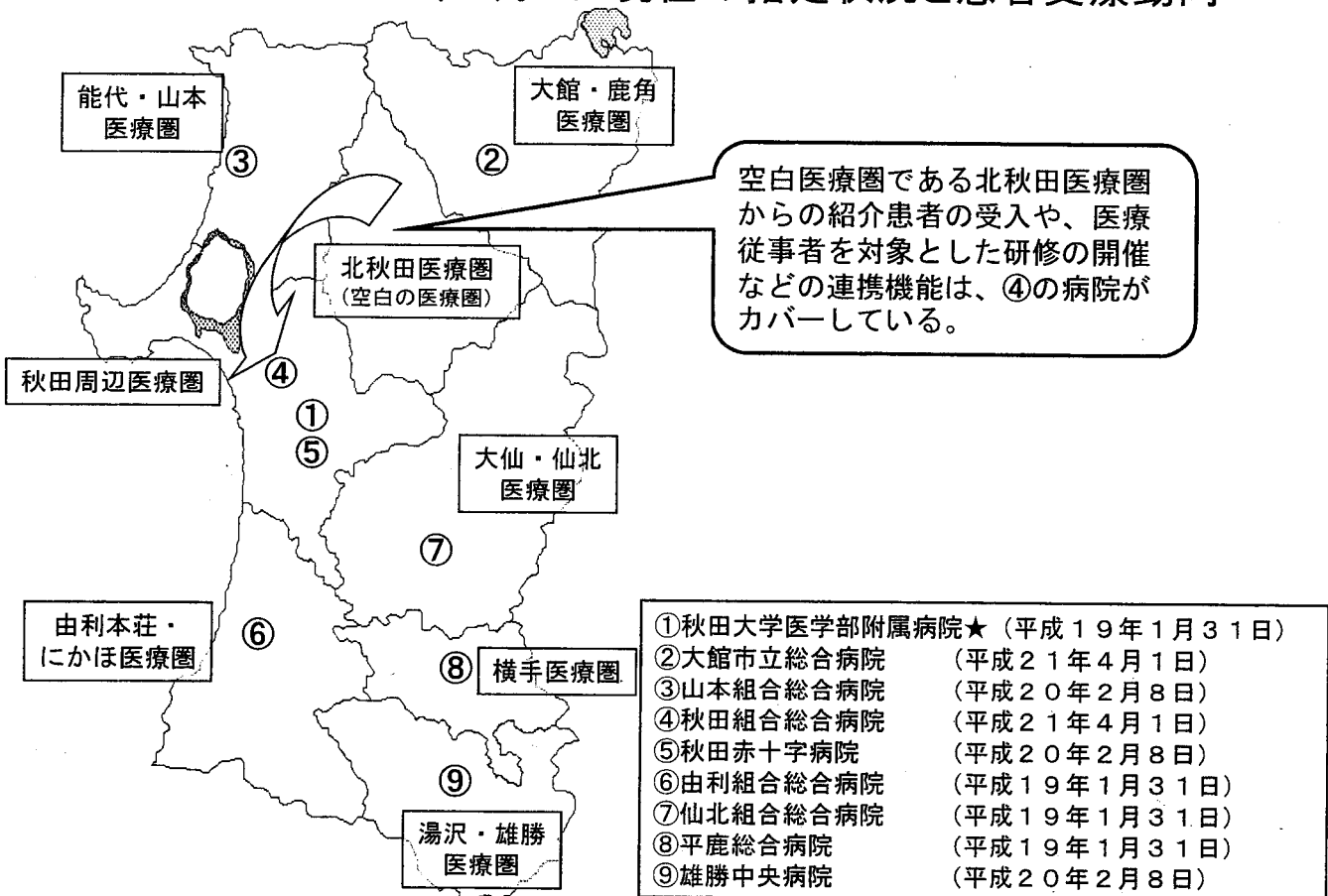
- ・地域がん診療連携拠点病院の指定要件を充足する医療機関がない。
- ・屋久島には県がん診療指定病院(屋久島徳洲会病院)が指定されている。
- ・現状では, この圏域のがん患者は交通網(航空機・船)の便利な鹿児島市内の医療機関を受診している。
- ・熊毛圏域については, 鹿児島保健医療圏域の医療機関への受診が多いことから, 熊毛圏域のがん患者をカバーする地域がん診療連携拠点病院を鹿児島圏域で今後指定推薦する方向で検討している。

5 秋 田 県

-261-

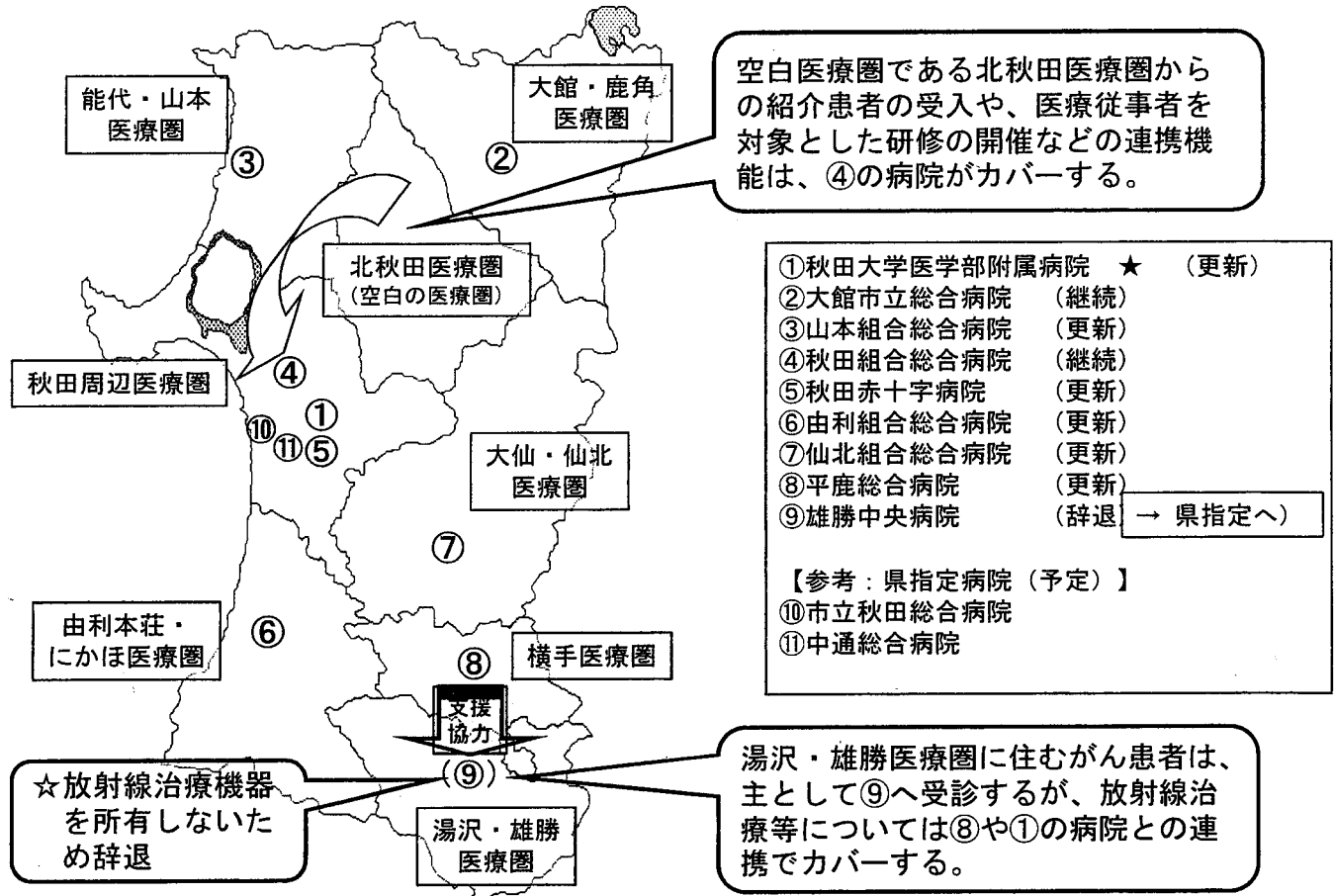
資料 1

秋田県 平成21年4月1日現在の指定状況と患者受療動向



No.	更新状況	病院名	年間入院患者数		悪性腫瘍手術総数	がんの種類										年間患者実数 (1月~12月)		薬物療法のべ患者数		緩和ケアチームに対する新診療依頼数 (6~7月の集計)	相談支援センター相談件数 (6~7月の集計)	退院時共同指導料2 (6~7月の集計)
			年間新入院患者数 (1月~12月)	年間新入院患者に占めるがん患者の割合 (%)		肺がん		胃がん手術		大腸がん手術		肝臓がん		乳がん		入院患者数	外来患者数					
			開胸手術	胸腔鏡手術		開腹手術	内視鏡手術 粘膜炎切除術 (EMR)	開腹手術	内視鏡手術	開腹手術	ラジオ波焼灼療法	乳房再建術 (乳房切除後) 二期的に行うもの	体外照射	小線源治療	入院患者数	外来患者数						
1	★更新	秋田大学医学部附属病院	(2,949) 3,068	(32.2%) 33.5%	(53) 165	(10) 13	(2) 3	(0) 4	(0) 0	(4) 4	(2) 2	(1) 4	(3) 3	(7) 9	(0) 0	(539) 552	(41) 30	(316) 276	(267) 318	(5) 4	(84) 98	(0) 0
2	現況	大館市立総合病院	(1,074) 804	(18.7%) 13.9%	(48) 63	(0) 0	(0) 0	(13) 14	(1) 5	(11) 12	(20) 0	(0) 0	(1) 0	(5) 6	(0) 0	(103) 122	(0) 0	(106) 55	(331) 103	(6) 4	(124) 196	(0) 0
3	更新	山本組合総合病院	(833) 902	(12.1%) 13.0%	(37) 24	(0) 0	(0) 0	(6) 8	(0) 0	(7) 2	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(4) 3	(0) 0	(145) 83	(0) 0	(84) 92	(120) 43	(1) 8	(12) 17	(0) 0
4	現況	秋田組合総合病院	(1,535) 1,635	(17.9%) 18.9%	(72) 85	(2) 0	(3) 2	(11) 22	(0) 0	(15) 24	(6) 2	(1) 2	(7) 7	(7) 6	(0) 0	(102) 108	(0) 0	(74) 79	(63) 71	(5) 6	(29) 57	(2) 0
5	更新	秋田赤十字病院	(1,754) 2,053	(17.9%) 21.1%	(139) 137	(3) 0	(10) 8	(19) 22	(2) 1	(12) 25	(9) 13	(1) 2	(4) 6	(10) 10	(0) 0	(182) 166	(0) 0	(71) 80	(122) 121	(33) 57	(32) 53	(0) 0
6	更新	由利組合総合病院	(1,414) 1,318	(8.9%) 14.2%	(33) 26	(1) 2	(1) 1	(2) 1	(1) 1	(10) 4	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(8) 3	(0) 0	(98) 122	(0) 0	(94) 156	(55) 96	(6) 2	(65) 35	(0) 0
7	更新	仙北組合総合病院	(1,609) 1,587	(20.2%) 20.4%	(77) 69	(4) 0	(3) 1	(15) 15	(4) 2	(9) 15	(4) 3	(1) 0	(0) 0	(8) 5	(0) 0	(94) 14	(0) 0	(126) 145	(105) 145	(2) 9	(18) 17	(0) 0
8	更新	平鹿総合病院	(1,403) 1,527	(15.7%) 16.4%	(98) 104	(1) 1	(5) 4	(10) 7	(0) 0	(18) 10	(3) 5	(7) 0	(7) 1	(13) 13	(0) 0	(270) 218	(0) 0	(102) 98	(96) 113	(0) 3	(70) 81	(3) 10
9	辞退	雄勝中央病院	(379) 558	(7.0%) 10.5%	(28) 50	(0) 0	(0) 0	(3) 4	(1) 3	(2) 8	(2) 1	(0) 1	(1) 0	(4) 7	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(33) 18	(27) 38	(7) 5	(5) 6	(0) 0

秋田県 平成22年度の指定推薦等状況と想定される患者受療動向





秋田県におけるがん診療体制の基本的な考え方

資料4-①

今回の推薦：更新6病院（継続2、辞退1） → 8医療圏 8病院へ

○ 秋田大学医学部附属病院が、県の拠点として、高度ながん医療を提供するとともに、県内拠点病院の連携の中心となって均てん化を推進

○ 医療提供体制の現状や、地理的条件、交通の利便性などの地域特性から、8つの二次医療圏すべてに、がん診療連携拠点病院を整備することが目標

・ 過疎地の医療圏にあっても、均てん化のためには拠点病院が必要

◇地域がん診療連携拠点病院は、

- 住民から身近な相談支援の窓口
- 予防・検診から治療まで、地域に根ざした啓発、情報提供
- 地域の医療機関との顔の見える連携

○ 秋田周辺医療圏は人口・医療資源が集中していることから、複数の病院を拠点病院とし、それぞれの特徴を活かしながら連携することで、医療圏内はもとより、県内全体の均てん化を推進

- ・ 秋田市内の複数の病院が医療圏及び県全体のがん診療をリード
- ・ 空白域のカバー、他の医療圏の拠点病院をサポート



-265-



今後の推進方針

資料4-②

○ 拠点病院に加え、県指定病院を整備し、県全体のがん診療の均てん化を推進

➢ 国の整備指針に準じた県独自の指定基準を設定し、雄勝中央病院、市立秋田総合病院、中通総合病院を「県がん診療連携推進病院（仮称）」として指定

➢ 県指定病院は、拠点病院との協力により、診療機能の強化や、医療圏内の他の医療機関との連携を推進

➢ 県単の補助制度により、県指定病院の機能強化を促進

- ・医療従事者を対象とする研修の実施
- ・がん登録の推進
- ・相談支援体制の強化
- ・地域連携クリティカルパスの整備 等

北秋田医療圏
人口4万、過疎・高齢化が急速に進行

北秋田市民病院（H22年4月開院・地域の中核病院）を、拠点病院が支援
※秋田組合総合病院（秋田周辺医療圏）がカバー

湯沢・雄勝医療圏
人口7万、過疎・高齢化が急速に進行

雄勝中央病院（拠点病院 → 県指定）が、引き続き医療圏内の診療の中心
※放射線治療等は、他の拠点病院との連携で

秋田周辺医療圏
・人口42万
・圏外から患者流入多い
・医療資源が集中

拠点病院に加え、市立秋田総合病院、中通総合病院を県指定病院として指定し、拠点病院と相互に協力し、県全体のがん診療水準向上を図る

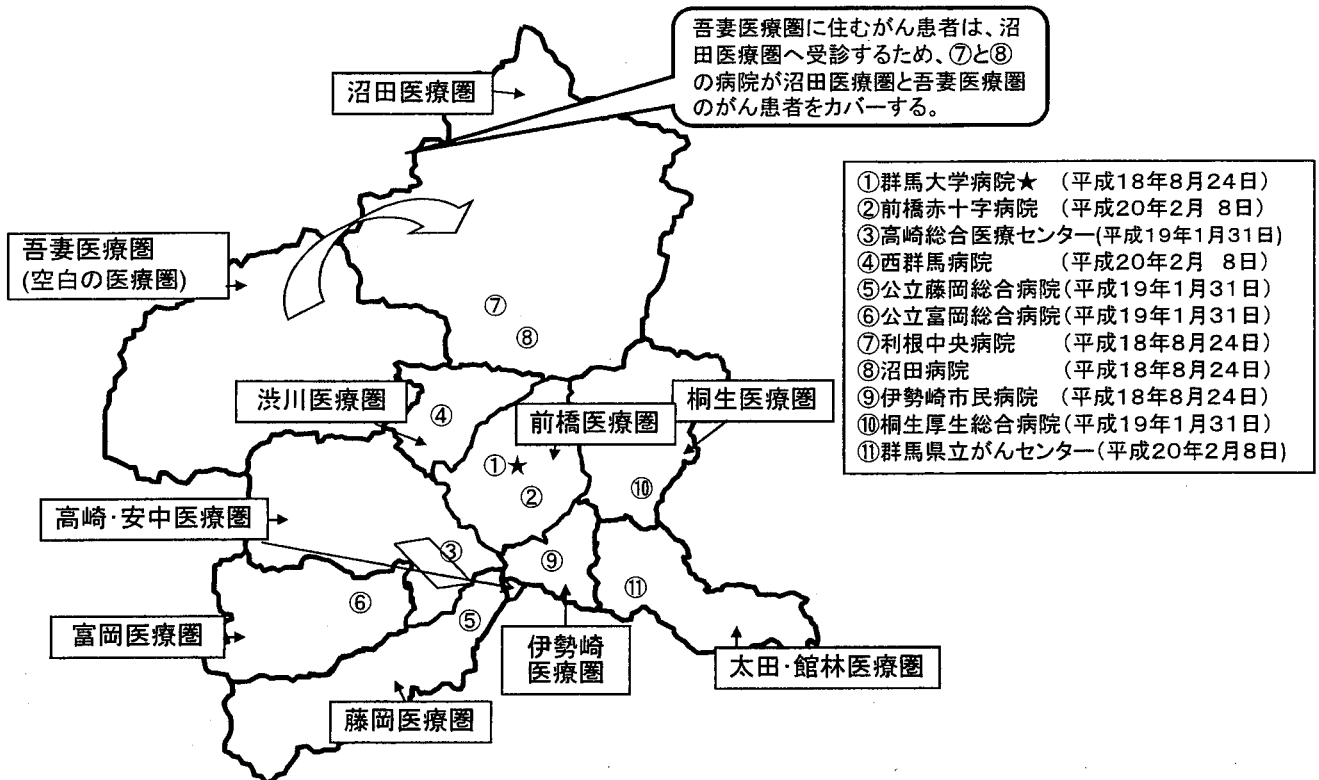
-266-

10 群馬県

-267-

資料 1

群馬県 平成21年4月1日現在の指定状況と患者受療動向



-268-

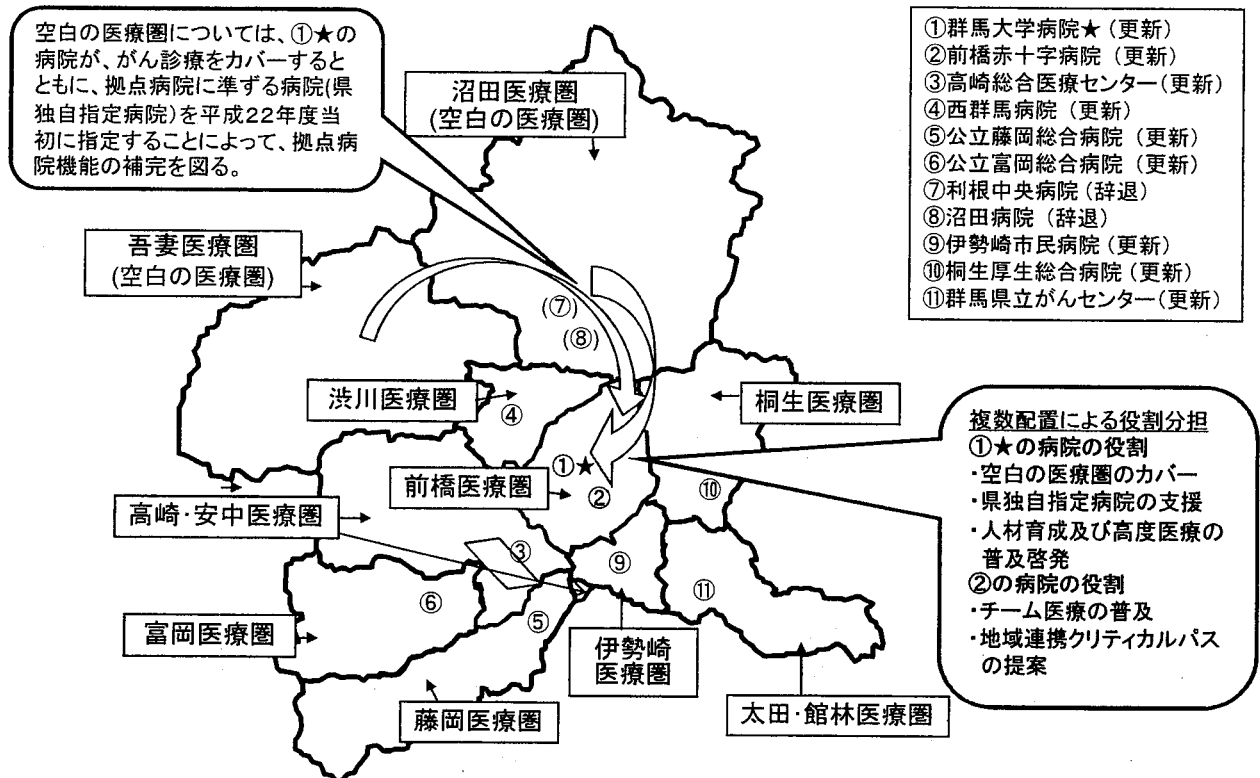
※()内は平成20年10月末提出の数値、下段は平成21年10月末提出の数値

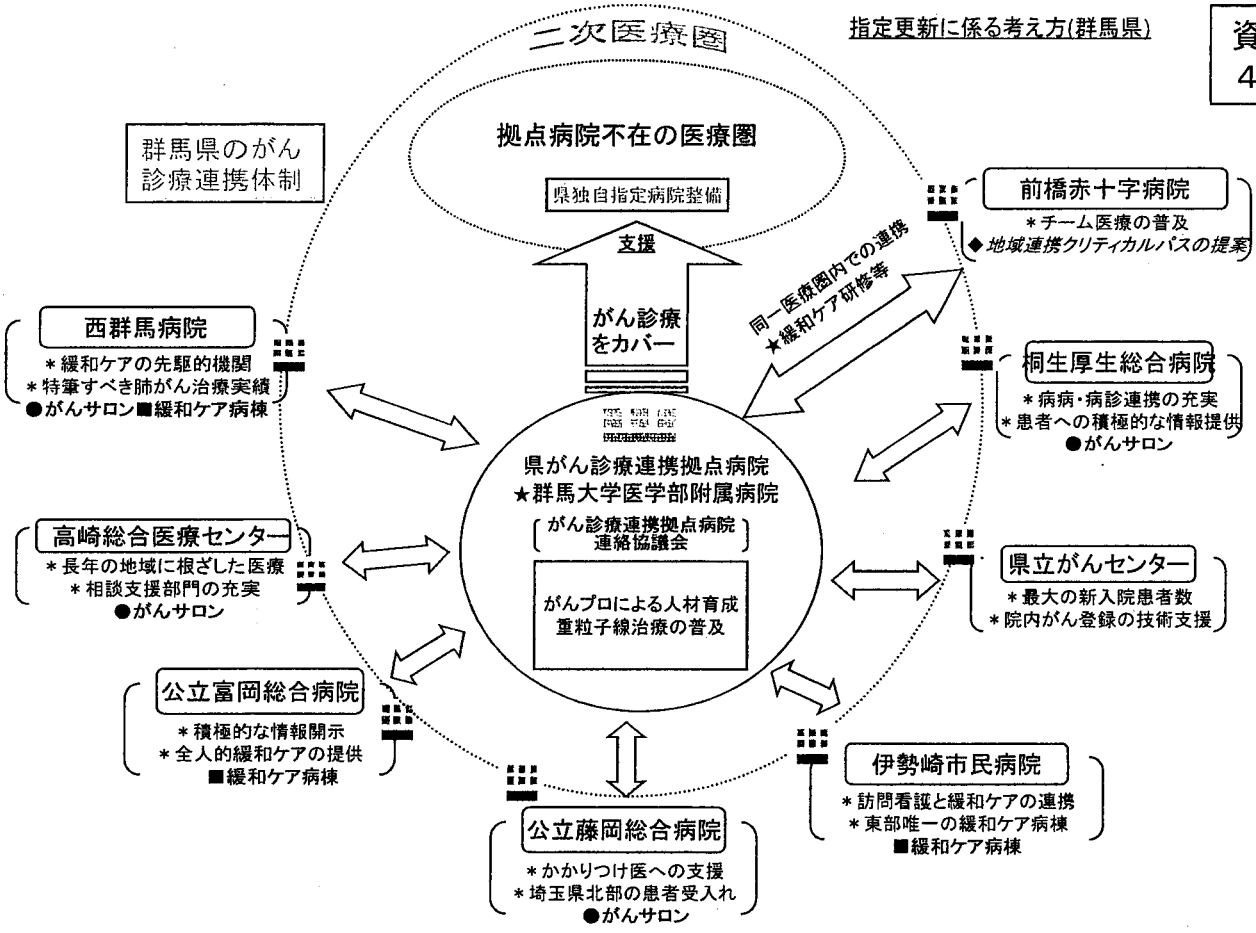
資料2

都道府県 or 地域	申請 区分	病院名	年間入院患者 数の状況		治療件数(手術件数)6~7月の集計											放射線治療		がんに係る 薬物療法 (6月~7月の 集計)		緩和 ケア		相談 センター		地域 連携
			年間新 入院が ん患者 数(1月 ~12 月)	年間 入院 患者 に めが ん者 の 割合 (%)	肺がん		胃がん手術		大腸がん手術		肝臓がん		乳がん		年間患者実 数 (1月~12月)	薬物療法の べ患者数	緩和 ケア チ ーム に 対 す る 新 規 依 頼 数 (6~7 月の 集計)	相 談 セ ン ター 相 談 件 数 (6 月の 集計)	退 院 時 共 同 指 導 料 2 (6~7 月の 集計)					
					悪性 腫瘍 手術 総数	開胸 手術	胸腔 鏡 手 術	開腹 手術	内視 鏡 手 術 粘 膜 切 除 術 (EMR)	開腹 手術	内視 鏡 手 術	開腹 手術	内視 鏡 手 術	開腹 手術						ラジ オ 波 焼 灼 療 法	乳 癌 手 術	乳 房 再 建 術 (乳 房 切 除 後) 二 期 的 に 行 う も の	体 外 照 射	
1	★更新	群馬大 病院	(3898) 3877	(31.7) 30.3	(298) 237	(8) 9	(21) 16	(14) 13	(4) 4	(28) 23	(1) 0	(0) 8	(1) 5	(44) 37	(1) 0	(826) 778	(191) 197	(429) 437	(376) 1419	(13) 193	(233) 244	(0) 0		
2	更新	前橋日 赤病院	(1314) 2520	(16.2) 20.7	(97) 110	(10) 2	(3) 3	(12) 7	(0) 0	(18) 11	(11) 0	(1) 4	(10) 11	(12) 15	(0) 0	(335) 334	(0) 0	(98) 118	(238) 127	(25) 32	(358) 387	(0) 0		
3	更新	高崎医 療セン ター	(790) 992	(141) 15.8	(86) 184	(0) 0	(5) 7	(8) 15	(0) 0	(4) 11	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(14) 18	(0) 0	(341) 274	(32) 30	(77) 132	(130) 91	(17) 24	(417) 386	(12) 3		
4	更新	西群馬 病院	(1614) 1899	(63.2) 70.9	(53) 59	(24) 28	(0) 8	(3) 2	(0) 0	(3) 2	(7) 0	(2) 1	(3) 7	(12) 7	(0) 0	(44) 237	(0) 0	(113) 184	(11) 29	(7) 13	(85) 55	(0) 0		
5	更新	藤岡総 合病院	(1462) 1617	(18.7) 20.0	(35) 47	(2) 2	(0) 0	(5) 8	(1) 3	(10) 6	(1) 0	(0) 0	(0) 0	(4) 2	(0) 0	(124) 112	(0) 0	(119) 124	(68) 25	(7) 10	(40) 25	(0) 0		
6	更新	富岡総 合病院	(1356) 1332	(14.8) 15.5	(86) 104	(0) 2	(0) 0	(15) 14	(0) 0	(19) 14	(8) 1	(0) 0	(0) 0	(14) 15	(0) 0	(140) 121	(0) 0	(19) 34	(82) 124	(9) 27	(15) 79	(0) 0		
7	更新	伊勢崎 市民病 院	(2873) 3500	(24.0) 27.8	(175) 159	(3) 7	(3) 4	(12) 4	(0) 0	(9) 10	(0) 1	(1) 0	(10) 8	(21) 17	(0) 0	(317) 325	(16) 22	(218) 155	(167) 96	(19) 17	(57) 180	(0) 0		
8	辞退	利根中 央病院	(1007) 1856	(16.3) 24.9	(55) 54	(0) 1	(1) 1	(5) 5	(0) 0	(12) 7	(7) 14	(0) 1	(6) 0	(6) 6	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(52) 33	(21) 40	(30) 30	(99) 28	(0) 0		
9	辞退	沼田病 院	(536) 550	(23.6) 25.6	(10) 14	(0) 0	(0) 0	(2) 9	(0) 0	(5) 7	(1) 0	(0) 1	(0) 2	(2) 1	(0) 0	(104) 0	(0) 0	(17) 75	(60) 40	(0) 8	(27) 38	(0) 0		
10	更新	桐生厚 生総合 病院	(1745) 2227	(20.7) 25.1	(76) 85	(0) 0	(0) 3	(8) 3	(1) 2	(9) 5	(0) 1	(4) 5	(2) 9	(3) 3	(0) 0	(161) 173	(0) 0	(294) 369	(189) 134	(13) 12	(22) 56	(0) 0		
11	更新	県立が んセン ター	(3507) 3950	(84.2) 91.3	(213) 200	(0) 0	(10) 7	(19) 20	(3) 3	(22) 23	(6) 7	(3) 2	(3) 2	(25) 30	(0) 0	(568) 563	(36) 43	(231) 336	(661) 723	(34) 15	(697) 645	(0) 0		

資料3

群馬県 平成22年度の指定推薦等状況と想定される患者受療動向





前橋医療圏における都道府県がん診療連携拠点病院
及び地域がん診療連携拠点病院の推薦について

★県拠点	群馬大学医学部附属病院
地域拠点	前橋赤十字病院

群馬大学医学部附属病院

- 拠点病院が空白となる医療圏(沼田・吾妻)のカバー
- 県独自指定病院への支援
- 医療従事者の人材育成及び高度医療の普及啓発

機能的役割分担

前橋赤十字病院

- 優れたチーム医療の地域への普及
- 拠点病院が汎用的に活用できる、地域連携クリティカルパスの提案

相乗効果

緩和ケア研修会受講者の増加

～2拠点病院が実施することによる研修会開催回数増加～
～群馬大学は空白の医療圏を含む県内全域の研修会を牽引～